



ケーアイこども新聞
第6号
2021年11月発行

ケーアイ調剤薬局
本部
〒899-5431
鹿児島県始良市
西餅田120-1ドリームKI
ホームページ
<https://ki-pharm.com/>



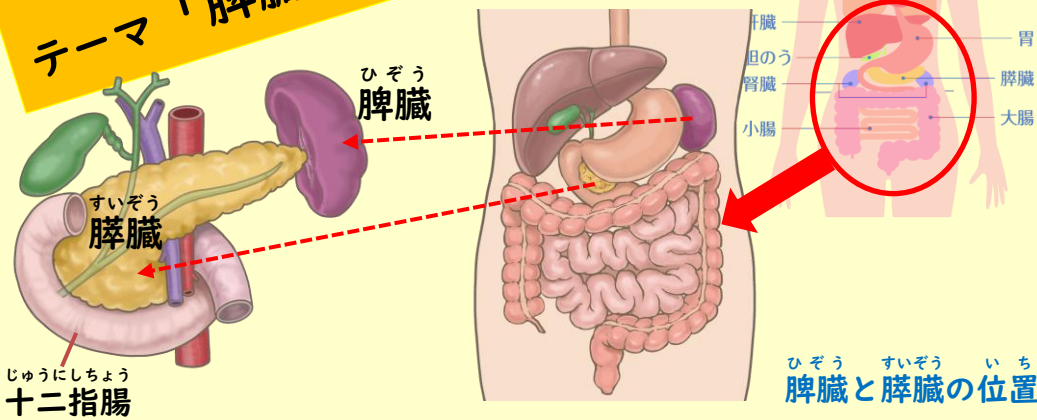
「脾臓（ひぞう）」と
「膵臓（すいぞう）」

五臓シリーズも、最後の「脾」
だけになりました。この五臓に含
まれる「脾」ですが、どの臓器を
指すかについては色々な説がある
ようです。

- ① 脾臓説
- ② 膵臓説
- ③ 脾臓+膵臓説

脾臓も膵臓も、今までの臓器に
比べて、あまり聞いたことがない
臓器かもしれませんね。今回はこ
の二つの臓器に注目してみよう
と思います。

テーマ 「脾臓と膵臓」



膵臓は、胃の裏（背中側）にあり、膵臓の
一部（頭部）は、十二指腸と接しています。
そして、尾部は脾臓と接しています。
脾臓は、左肋骨の下辺りに位置します。

かたち

膵臓

右側が太くて、
左側が細い形を
しているよ。



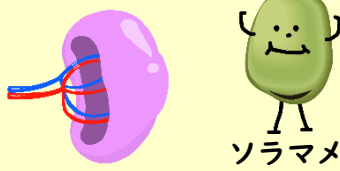
少し突き出している

トウモロコシに
似ている!?



脾臓

ソラマメみたいな
形をしているよ。

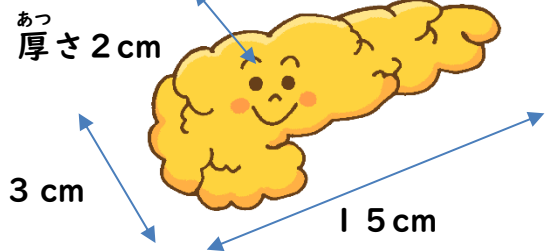


腎臓にも似ているね



大きさ・重さ

おとなの場合・・・

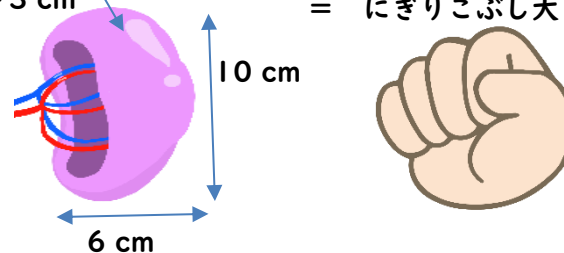


重さは、60~100g。

= 食パン1枚分
(60g)



厚さ3 cm



= にぎりこぶし大

重さは 100g

= 卵2個分



すいぞう
膵臓のはたらき

① 食べ物を消化するために必要な「膵液」を作る。

からだ た もの えいよう りよう しょうか た もの こま ぶんかい えいよう
体が食べ物を栄養やエネルギーとして利用するためには、消化(食べ物を細かく分解して、栄養
からだ きゅうしゅう かたち ひつよう しょうか ひつよう しょうかえき なか
を体が吸収できる形にすること)する必要があります。消化のために必要な消化液の中
も、特に重要なのが「膵液」です。膵液には、3大栄養素(たんぱく質・脂質・糖質)を消化
できる酵素こうそが含まれています。



くち い た もの い はい い しょうか
口に入れた食べ物が胃に入ると、まずは胃で消化され、
お粥のようにドロドロになって十二指腸じゅうにしちょうへ送られます。
十二指腸じゅうにしちょうに食べ物が届くと、膵臓から十二指腸へ膵液が
おく た もの ぶんかい
送られ、食べ物をさらに分解します。

② 血液中の糖分のバランスを保つ。

けつえきちゅう どうぶん たも
食事から摂った糖分は、体にとってとても大事です。血液中の糖分のバランスが崩れると、
からだ ちょうし わる すいぞう けつえきちゅう どうぶん たも たいせつ やくわり
体の調子も悪くなってしまいます。膵臓は血液中の糖分のバランスを保つために大切な役割
を果たす「インスリン」「グルカゴン」といったホルモンぶんびつを分泌しています。

ひぞう
脾臓のはたらき

わたし けつえき なか からだ すみずみ さんそ はこ はたら せつけっきゅう せつけっきゅう
私たちの血液の中には、体の隅々まで酸素を運ぶ働きをする赤血球せつけっきゅうがあります。赤血球の
じゅみょう やく げつ ふる せつけっきゅう さんそ はこ ひぞう ふる
寿命は約3~4か月で、古くなった赤血球は酸素を運ぶことができません。脾臓は、この古くな
った赤血球を壊す働きをしています。また、ケガした時などに血を固める働きをする血小けっしょうばん板を
たくわ ひつよう とき ほうしゅつ
蓄えておき、必要な時に放出できるようにしています。

き つ ないぞうそんしょう
気を付けよう~内臓損傷~

わたし い たいせつ ないぞう ぞうき まわ かた ほね おお ほね まも
私たちが生きていくために大切な内臓を守るため、臓器の周りは硬い骨で覆われていますが、骨に守ら
れていない部分がある臓器ぞうきもあります。「肝臓」「腎臓」「膵臓」「脾臓」です。

せなか つよ しょうげき う
おなかや背中をぶつけて、強い衝撃を受けると、
これらの内臓が傷ついたり、破裂したりすることがあります。



じてんしゃ はし ころ とき なに も はし ころ とき ないぞう
自転車で走って転んだ時や、何かを持ったまま走って転んだ時などに、おなかをぶつけて、内臓にケガし
てしまった子もいます。自分の体の中にも、友達ともだちの体の中にも、元気に生きていくために大切な内臓が
はい 入っているということを忘れずに、けがをしないように遊びましょう。